

《 現代の社会問題コース 》

「 つながりから見えるアジアの姿と未来 」

1 趣旨

グローバル化が進み、国際的な地域間の結びつきや対立が私たちの生活に大きな影響を与えています。アジアの東縁にある日本は、アジアの中でどのようなつながりを育むべきなのでしょう。また、これまでの日本と他地域との関係があまり注目されてこなかったところにどんな経緯があり、可能性があるのでしょうか。本講座では、日本を取り巻く東アジアの各地域の様子を各論的に学び、その多様性と東アジアの関係、将来を展望し、総論へと学んでいきます。

2 学習方法

前期：講義 ※後期ゼミナールは実施しません。

3 曜日・時間

土曜日 午後4時 ～ 6時

全回 対面講義

4 講座コーディネーター

新潟大学 環東アジア研究センター長 高橋 秀樹

5 プログラム・指導講師

回	月日	テーマ	内容	講師
1	6/19	<各論1>新潟 東アジア世界と 新潟の弥生時代	新潟県域における弥生時代遺跡・遺物の考古学的検討を通じて、東アジア世界とのつながり・交流の具体像について考えます。	新潟大学研究推進機構 超越学術院 助教 森 貴教
2	7/3	<各論2>カンボジア 進む中国依存と 日本の役割	親日国であるカンボジアは近年、中国への依存を深めています。「民主化なき経済発展」が進む同国の現状と日本の役割について学びます。	新潟国際情報大学 国際学部 准教授 山田 裕史
3	7/10	<各論3>インドネシア 高齢化するバリ社会	多民族国家インドネシアは国家全体としては生産年齢人口が多い社会ですが、その中の一地方であるバリでは少子高齢化が問題になると予想されます。その理由をバリ社会の特色から考えます。	新潟大学人文学部 教授 中村 潔
4	7/17	<各論4>ロシア 住生活からみる ロシア人の暮らしと経済	ロシア人の住生活は市場経済化によって変化しました。その変化の様子と新しい日露のビジネス・チャンスの課題や展望について考察します。	新潟大学経済科学部 准教授 道上 真有
5	7/31	<各論5>ラオス 語り継ぐ戦争の記憶 ～新潟(長岡)との比較から～	かつて激しい空襲を経験したラオスの人々の戦災について、新潟の経験と比較しながら記憶の継承について考察します。	新潟国際情報大学 国際学部 准教授 瀬戸 裕之
6	8/28	<各論6>東アジア ポストコロニアル的視点から 見る台湾と東アジア	植民地と植民母国との複雑な関係は現代にも生き続けています。日台関係を通して東アジア地域におけるポストコロニアルな現象を説明し、今後の東アジア国際情勢の在り方についても考えます。	新潟県立大学 国際地域学部 准教授 陳 柏宇
7	9/4 (公開)	<総論1>東アジアの安全保障 日本を取り巻く安全保障環境 の展望と環日本海経済圏 の可能性	脱コロナ世界の展望、米中確執の影響、朝鮮半島情勢の将来など重大かつ不透明な要因が多い中、国際情勢が大きく変化することを見据えて日本の将来を考える必要があります。今回は、少し楽観的な展開を含めて情勢の幅を捉え、新潟県の目前に広がる環日本海経済圏の可能性について考えてみます。	国際大学国際関係学 研究科 教授 山口 昇
8	9/11	<総論2>東アジアの経済 ビジネスのグローバル化と 求められる人財像	日本発のビジネスにとってグローバル化されたビジネスに必要な行動、意識、能力要件とは何でしょうか。異文化環境の視点をヒントに考えていきます。	国際大学国際経営学 研究科 教授 横瀬 勉